



募金活動

WFP（国連世界食糧計画）

ユニーは、国連世界食糧計画（WFP）協会参加企業として、社内の会議や店舗でのイベントの際にWFPについての啓発活動を行いました。さらに、「ポケットのワンコインで飢えに苦しむ子どもたちに給食を」を合言葉に、毎月第1月曜には本社事務所食堂で、毎月第1日曜・月曜にはアピタの一部店舗で募金を呼びかけています。2009年度は981,453円を寄付することができました。



愛の1円玉募金

各店舗の店頭「愛の募金箱」を設置し、お客様・お取引先・従業員から善意の募金を募っています。集まった募金は、地域の福祉協議会や福祉団体へ寄贈しています。

関東地区	1,893,796円
静岡地区	641,600円
中京地区	7,035,556円
北陸地区	837,429円
合 計	10,408,381円

被災地への募金

スマトラ島沖・サモア諸島沖地震被災地支援募金	5,146,941円
ハイチ地震被災地支援募金	14,085,035円
中国青海省地震被災地支援募金	3,259,384円
宮崎県口蹄疫被害義援金募金	10,133,559円

AJU 車椅子センター

1982年より旧ユースタの各店舗では「車椅子の無料貸し出し」を行うために、従業員による募金活動によってAJU車椅子センターへの寄付を続けてきました。今年度からはユニーが引き続き募金活動を実施していきます。介護保険がスタートし福祉機器貸与事業が始まったことで、車椅子の貸し出しも福祉制度のはざまにいる人々が対象になってきました。これからも地域の車椅子を必要としている人々を支援していきます。



地域活動への参加

全店一斉クリーンキャンペーン

ユニー全店舗で従業員が店舗周辺を清掃する「全店一斉クリーンキャンペーン」を実施しました。



サービス介助士資格の取得

サービス介助士資格とは「比較的元気な高齢の方や障がいをもつ方をお客様としてお迎えするときの介助技術」を日本ケアフィットサービス協会が認定した資格です。店舗の店長や副店長および本部管理職を対象に取得をすすめており、既取得者は約1,000人になろうとしています。



各地の環境展に出展

ユニーの環境活動の紹介や情報開示、また毎日の生活のなかで進める「環境にいいこと」をたくさんの人々に知っていただくために、自治体環境展への出展や自店での環境展を開催しています。名古屋市環境学習センターでは6月の環境月間に、子供向けの環境展を開催しました。また、三県一市グリーン購入キャンペーンに協力し、愛知県・岐阜県・三重県・名古屋市においてブースを出展し、環境についてのさまざまな催し物を開催しました。



環境デーなごや2009においてピアゴ清水山店が表彰

日ごろの環境への取り組みが評価され、ピアゴ清水山店が、環境デーなごや2009において名古屋市より最優秀賞をいただきました。牛乳パックやトレイなどの店頭回収リサイクルへの取り組みやレジ袋使用削減などが高く評価を受けました。この表彰は消費者団体から選出されるもので、お客様と一緒に進める環境活動が認められたものです。



EXPOエコマネーへの協力

2005年日本国際博覧会（愛・地球博）で誕生した環境通貨「EXPOエコマネー」は、レジ袋を断ったり公共交通機関を使って移動したりエコ活動をするなどでポイントを貯めることができ、エコ商品との交換や植樹活動への寄付に使えます。このエコマネーのポイントが入力できる「EXPOエコマネーサテライト」をアピタ東海通店・ピアゴアラタマ店・ピアゴ今池店に開設し、これまでに開設したアピタ長久手店・アピタ千代田橋店・アピタ鳴海店と合わせて6店舗となりました。また、豊田市が推進する「とよたエコポイント制度」にも賛同し、アピタ豊田元町店にとよたエコポイントセンターを開設しました。エコ活動でポイントをもらえ、さらにCO₂削減につながるというこの環境通貨には42万人が参加し、低炭素社会を構築するためのライフスタイルを広める役割を果たしています。

